

香芝市立鎌田小学校

令和五年一月十日

# 学校だより

すべての命が輝く鎌田小学校

第二十号

校長 杉村 幸恵



鎌田小学校キャラクター  
くずのつき m.m



新しい年が始まりました。

保護者の皆さま、地域の皆さま、

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

穏やかな天候に恵まれ、あちらこちらで美しい初日の出が見られた今年のお正月、皆さんどのようにお迎えになりましたか。

大晦日からたった一日、日付が変わるだけですが新しい年を迎えるというのは、身も心も改まった感じがしますね。その昔は、お正月に合わせて洋服や靴、下着などをおろした(新調した)ようです。「心機一転」とするには、よい節目の時です。保護者の皆さま、ぜひ、子どもたちが改めて自分自身を見つめ直す姿を、そして、新年を機会に感じた何かしらの思いを決意にかえていこうとする姿を、応援をしてやっていただきますようお願いいたします。



さて、今年はどうさぎ年。「うさぎ年」は、「兎年」とも「卯年」とも書きます。十二支の場合は、「卯」の方の漢字を使うことが多いようです。

この「卯」という字は、中国では「莖や葉が大きくなる様子を表す字」とされているようです。そこから、うさぎ年は、「芽を出した植物が成長していき莖や葉が大きくなる時期で、目に

見えて大きく成長する年」ともいわれるようです。

今年一年、子どもたちが自分の目標に向かい、大きく成長していくことができるようにと願うばかりです。私も心新たに励んでまいります。

## 「食べること」は「生きること」

お子さまは、朝食をしっかりとって登校できていますか？

子どもたちと話をしていると、時々、朝飯をとらずに登校してきたんだなあと知ることがあります。また、全国的に行った「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」でも、全国に比べて奈良県の子どもたちは、朝食をとっている割合が低いことが報告されています。

実は、朝食の摂取は体力面での不調だけでなく、学力面でも大きな差が見られることが分かっています。「毎日朝食をとっている」子どもと、「あまり食べてない」子どもでは、正答率に平均10ポイント以上の差が見られ、「全く食べていない」子どもにおいては、国語で15ポイント以上、算数ではなんと、20ポイント近い差が見られるようです。

また、二学期までの給食の様子を見ていると、「食べること」への関心が低いと思われる子ども様子が気になるところがあります。なかなかお箸が進まなかったり、いろいろなことに気が向いたり…。とりわけ、野菜を使った煮物等は、全体的に残食量が多いこともあります。

「食べること」は、私たちが心身ともに健康に生きていくためには欠かせない営みです。食べることの大切さや食文化、食に関する習慣や食べ物への成り立ちに関心をもちながら、「食べることの大切さ」について考えてみませんか？お子さまとともに、「食」に関する関心を高めるには、お正月に食べる「おせち料理」は、よい機会です。

本日、配布されています献立表にもおせち料理について書かれています。また十三日は、この時期ならではの食材を使ったお正月献立も提供されます。

「食べること」を通して、「生きる力」を育てていけるといいですね。

